



# 滝沢村自治会連合会 創立40周年記念誌刊行を祝して

滝沢村長 柳村典秀

滝沢村自治会連合会創立40周年を迎え、ここに記念誌の刊行をみましたことは誠にご同慶にたえず心からお祝い申し上げます。

また、皆さまにおかれましては、日頃から安全で安心な住みよい地域づくりのために、日夜大変な努力をされておりますことに、衷心より敬意を表するものであります。

さて、この40年を顧みますと、前半の20年間は、人口の増加にともなう急激な都市化に対応した学校、公共施設、道路、下水道などといったインフラ整備を中心とした施策を展開してまいりましたが、後半の20年間は、バブル崩壊後の長引く景気の低迷、それにとともなう雇用環境の悪化、少子高齢化などを受けて、村といたしましても多様化する住民ニーズに対応するため、様々な行財政改革に取り組んでまいりました。

このような地域環境の変貌と近年の社会経済情勢を受けて、地域も行政もこれまでと同じようなことをしては、いずれ立ち行かなくなると考えております。そのため、これからは、新しい地域づくりの手法が必要となってまいります。

村では、新しい地域づくりを進めるため、住民主体の組織として「たきざわ未来創造会議」を立ち上げ、地域の想いを語りながら、地域づくりのルールである自治基本条例を策定していくこととしておりますが、その策定には自治会連合会をはじめ、各自治会長のご理解とご協力が必要であります。今後、自治会を中心とした住民自治を深めながら地域づくりを進め、地域の皆様とともに平成26年1月の市制移行を積極的に推進してまいりたいと考えております。

おりしも、そのような中で発生した東日本大震災では、その対応について、行政力、住民力双方が試され、クローズアップされることとなりました。その中で、自治会連合会においていち早く取り組まれた義援金の募金活動は、村内全自治会の協力のもと、1千万円以上の善意が寄せられ、被災者のために役立てられたことは、高く評価されるものでありますし、まさに住民力が結集された結果だと思えます。

このような、先行きが見通せない困難な状況の中だからこそ、村行政と自治会連合会並びに各自治会との連携・協力が必要であり、新しい地域づくりに向けて、皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。記念誌刊行のお祝いの言葉といたします。